

2026 年度 学生募集要項

大学院

【修士論文コース/診療看護師（NP）コース】



学校法人 佐久学園

佐久大学

目次

【Ⅰ .大学院の概要】

1. 建学の精神、教育理念	1
2. 佐久大学大学院看護学研究科の目的	1
3. 教育目標	1
4. 看護学専攻の構成	1
5. 各分野の研究指導教員・副指導教員	2
6. 3つのポリシー	2
7. 修了要件と取得学位	3
8. 教育課程表	5
9. 本研究科が実施する特定行為研修	7
10. 実習協力施設	7

【Ⅱ .入試概要】

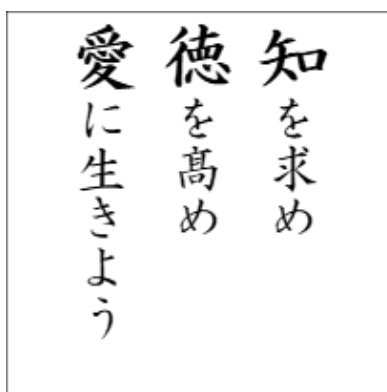
1. 募集人員	8
2. 出願資格	8
3. 試験等の日程	8
4. 試験当日の時間割	8
5. 入試区分と選抜方法	9
6. 出願資格審査申請手続（該当者のみ）	9
7. 出願前面談	10
8. 出願書類	11
9. 入学検定料	13
10. 出願時の注意事項について	14
11. Web 出願の流れ	15
12. 受験上の注意事項について	16
13. 合格発表および入学手続について	16
14. 学生納付金について	17
15. 個人情報の保護について	17

【Ⅲ .本学へのアクセス】 18

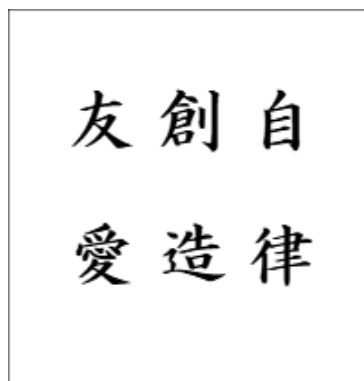
I. 大学院の概要

1. 建学の精神、教育理念

●建学の精神



●教育理念



2. 佐久大学大学院看護学研究科の目的

看護学の基礎教育を基盤として、看護学をより深く探究し、科学的思考力と研究の手法を修得して看護研究を遂行する能力の開発を行うとともに、地域の多様な保健医療ニーズに適切に対応することのできる高度な看護実践能力の開発を図ることを通して、看護の質の向上に寄与できる人材の育成を目指します。

3. 教育目標

- 1) 科学的・論理的思考を看護の研究や実践に応用できる人材を育成します。
- 2) それぞれの看護領域でよりよい看護を追究できる専門的職業人を育成します。
- 3) 地域社会の実情に適した看護方策を施行し、地域の健康増進に貢献できる人材を育成します。
- 4) 文化的多様性を理解し、看護を通じて社会に貢献できる人材を育成します。

4. 看護学専攻の構成

専攻	コース	分野	領域
看護学専攻	修士論文コース	総合看護学分野	看護教育学
			国際看護学
			看護管理学
		臨床看護学分野	母子看護学
			成人看護学
			精神・老年看護学
		地域看護学分野	地域・在宅看護学
	診療看護師（NP）コース*	—	—

*特定行為研修を含む

5. 各分野の研究指導教員・副指導教員

(枠内 50 音順) 2025.4.1 現在

	総合看護学分野	臨床看護学分野	地域看護学分野	診療看護師 (NP) コース *
研究指導教員	八尋道子 吉田文子	柿澤美奈子、川野道宏 小林睦、鈴木千衣 武田貴美子 水野照美、湯本敦子	小林恵子 朴相俊	川野道宏
副指導教員	齋藤順子	坂江千寿子、諏訪達彦 中田覚子	菊池真弓 細谷たき子	松下由美子 齋藤順子

* 診療看護師 (NP) コースでは、他分野 (総合・臨床・地域) の教員も研究指導を担当します。

6. 3つのポリシー

【修士論文コース】

○アドミッション・ポリシー (入学者受入の方針)

- 1) 看護にかかわる実践的な課題を科学的に探究することに関心がある人
- 2) 看護実践・教育等の経験をもとに看護現象を研究し、看護の発展に貢献する意欲がある人
- 3) 国内外の看護・保健・医療に関心を持ち、文化の多様性を踏まえた看護の課題を探究したいと考える人

○カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針)

- 1) 修士課程の基盤となる総合的分野として共通科目、専門分野として総合看護学 (看護教育学、国際看護学、看護管理学)、臨床看護学 (母子看護学、成人看護学、精神・老年看護学)、地域・在宅看護学の各特論及び演習、さらに看護学特別研究を設けます。
- 2) 共通科目においては、科学的・論理的思考を養い、看護の実践と研究の基盤となる科目を置き、「看護研究法」「看護倫理」「看護情報・分析」を必修とします。また、文化的多様性の理解につながるよう「国際保健論」を選択必修とします。
- 3) 視野を広げて看護現象を探究できるよう専攻領域以外の選択科目を設けます。
- 4) 修士論文の作成を通じて、実践に活用できる研究能力を養う教育課程とします。

○ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針)

本コース修了者には、所定の単位を修得し、論文審査等に合格したことにより、以下の能力を身につけたものと認め、修士 (看護学) の学位を授与します。

- 1) 専門分野において科学的根拠に基づく質の高い看護実践能力
- 2) 看護の専門分野における科学的・論理的思考を養い、実践に活用できる研究能力
- 3) 専門分野を中心に保健・医療・福祉の向上・発展に貢献できる能力
- 4) 文化の多様性を理解し、高い倫理観を持って総合的に調整する能力

【診療看護師 (NP) コース】 (2026 年度より変更)

○アドミッション・ポリシー (入学者受入の方針)

- 1) 地域の人々の健康の維持・増進、疾病の重症化予防や回復に対して、看護学と医学の視点を活かして対応する意欲をもつ人
- 2) 看護実践の科学的な根拠を探究し、自己研鑽し続ける意志と学習意欲をもつ人
- 3) 豊かな人間性と倫理観を備える人
- 4) 協調性と自律性を備え、多職種と協働できる人間関係能力をもつ人

○カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針)

- 1) 地域医療の中で求められる医療行為を安全に実施する能力を身につけるために、教育課程に特定行為研修の研修内容を含みます。

- 2) 必要な臨床判断、治療の管理、治療効果の判断を自律的に実践する能力を身につけるための科目を設けます。
- 3) 医師ならびに関係者と連携・協働し、対象者の意思決定を尊重しながら医療・看護を提供する能力を身につけるための科目を設けます。
- 4) プライマリ・クリティカル領域の包括性・継続性・緊急性を理解し、高度な看護の実践者としての役割発揮ができるための科目を設けます。
- 5) 高度な看護の実践者としての能力と質担保のために、OSCEを含む段階的な試験を実施します。
- 6) 保健・医療・福祉現場の実践的な課題解決に必要な研究能力を身につけるために、特定課題研究を実施します。

○ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

本コース修了者には、所定の単位を修得し、特定課題研究の審査等に合格することにより、以下の能力を身につけたものと認め、修士（看護学）の学位を授与します。あわせて、本コース指定の特定行為研修の修了、および一般社団法人日本 NP 教育大学院協議会が実施する診療看護師（NP）資格認定試験の受験資格を得ることができます。

本コース修了者は、在宅、施設、慢性期病棟などで急性疾患発症時の初期対応や、比較的軽い症状や慢性疾患をもつ患者の様々な訴えに対して、看護学と医学の視点から包括的なアセスメントを行い、必要な検査、臨床判断、治療の管理、治療効果の評価を自律的かつ必要に応じて多職種と協働して実施できる診療看護師（NP）としての活躍が期待されます。

よって、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した者には、修士（看護学）の学位を授与します。併せて本コース指定の特定行為研修の修了、一般社団法人日本 NP 教育大学院協議会の診療看護師（NP）資格認定試験の受験資格を取得することができます。

- 1) 包括的健康アセスメント能力
- 2) 医療的処置マネジメント能力
- 3) 卓越した看護実践能力
- 4) 看護マネジメント能力
- 5) チームワーク能力
- 6) 保健医療福祉制度の活用・開発能力
- 7) 倫理的実践能力

7. 修了要件と取得学位（2026 年度より変更予定）

【修士論文コース】

2 年以上在学し、履修要件に従い 30 単位以上を修得し、かつ修士論文審査と最終試験に合格すると課程修了と認定され、修士（看護学）の学位が授与されます。

科目区分		履 修 要 件		
		必 修	選択必修	選択
総合的分野（共通科目）		6 単位	2 単位	2 単位以上
専門分野	総合看護学 臨床看護学 地域看護学	—	選択領域の特論・演習 各 2 単位	8 単位以上 *1 *2
	高度実践看護学(NP)	—	—	
	看護学研究	—	8 単位	—
計		6 単位	14 単位	10 単位以上
		30 単位以上		

*1 選択領域以外の演習は、原則として履修できません。

*2 放送大学大学院単位互換科目は、4 単位を上限として、修了要件に算入できます。

【診療看護師（NP）コース】

2年以上在学し、履修要件に従い55単位以上を修得し、かつ特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格すると課程修了と認定され、修士（看護学）の学位が授与されます。

併せて、12区分16行為の特定行為研修の修了、一般社団法人日本NP教育大学院協議会の診療看護師（NP）資格認定試験の受験資格を取得することができます。

科目区分		履 修 要 件		
		必 修	選択必修	選 択
総合的分野（共通科目）		6 単位	4 単位	2 単位以上
専門分野	総合看護学	—	2 単位	
	臨床看護学	—	—	
	地域看護学	—	—	
	高度実践看護学(NP)	—	37 単位	
	看護学研究	—	4 単位	—
計		6 単位	47 単位	2 単位以上
		55 単位以上		

※詳細は P.5～6 の「8.教育課程表」をご覧ください。

※特定行為研修修了者の既修得単位認定について。特定行為研修共通科目に該当する本学開講の5科目について、入学確定後、免除希望の申請手続きをし、該当科目の試験を4月に受けて8割以上の成績を修めた場合、6単位までを認定できます。また、既に習得済みの特定行為については、実習開始前までに所定の試験に合格した場合、実習において改めて5症例分の評価を受ける必要がないとする制度も設けています。詳しくはお問い合わせください。

8. 教育課程表 (2026 年度より適用予定のものを掲載しています)

修論コース=修士論文コース
NP コース=診療看護師 (NP) コース

科目 区分		授業科目名	配当 年次	開講 時期	単位数	授業形態			履修方法及び修了要件				科目 履修	科目責任教員 (主任講師)
						講 義	演 習	実 習	修論コース		NPコース			
									必修	選択	必修	選択		
総合的 分野	共通科目	看護研究法	1・2	前	2	○			●		●			水野照美
		看護コミュニケーション論	1・2	前	2	○				○		○	◇	坂江千寿子
		国際保健論	1・2	後	2	○				◎		○	◇	甲斐一郎
		看護倫理	1・2	後	2	○			●		●		◇	八尋道子
		看護情報・分析	1・2	前	2	○			●		●		◇	朴 相俊
		保健医療福祉政策・制度論	1・2	後	2	○				○		◎	◇	小林恵子
		ヘルスプロモーション/健康教育	1・2	前	2	○				○		◎	◇	細谷たき子
		計 (7科目)	—	—	14	—			—	—	—	—	—	
専門 分野	総合看護学	看護教育学特論	1・2	前	2	○				◎/○		○		吉田文子
		看護教育学演習	1・2	後	2			○			◎			吉田文子
		国際看護学特論	1・2	前	2	○				◎/○			◇	不開講
		国際看護学演習	1・2	後	2			○			◎			不開講
		看護管理学特論	1・2	前	2	○				◎/○		◎	◇	齋藤順子
		看護管理学演習	1・2	後	2			○			◎			齋藤順子
		計 (6科目)	—	—	12	—			—	—	—	—	—	
	臨床看護学	母子看護学特論Ⅰ	1・2	前	2	○				◎/○			◇	湯本敦子
		母子看護学特論Ⅱ	1・2	前	2	○				◎/○			◇	鈴木千衣
		母子看護学演習Ⅰ	1・2	後	2			○			◎			湯本敦子
		母子看護学演習Ⅱ	1・2	後	2			○			◎			鈴木千衣
		成人看護学特論	1・2	前	2	○				◎/○			◇	水野照美
		成人看護学演習	1・2	後	2			○			◎			水野照美
		精神・老年看護学特論Ⅰ	1・2	前	2	○				◎/○			◇	柿澤美奈子
		精神・老年看護学特論Ⅱ	1・2	前	2	○				◎/○			◇	諏訪達彦
		精神・老年看護学演習Ⅰ	1・2	後	2			○			◎			柿澤美奈子
		精神・老年看護学演習Ⅱ	1・2	後	2			○			◎			諏訪達彦
		計 (10科目)	—	—	20	—			—	—	—	—	—	
	地域看護学	地域・在宅看護学特論Ⅰ	1・2	前	2	○				◎/○			◇	小林恵子
		地域・在宅看護学特論Ⅱ	1・2	前	2	○				◎/○			◇	河原加代子
		地域・在宅看護学演習Ⅰ	1・2	後	2			○			◎			小林恵子
		地域・在宅看護学演習Ⅱ	1・2	後	2			○			◎			河原加代子
		計 (4科目)	—	—	8	—			—	—	—	—	—	
	高度実践看護学 (NP)	臨床病態生理学・疾病概論 *	1	前	2	○						◎		東本恭幸
			1・2	前・後										
		臨床推論 *	1	前	1	○						◎		北村 聖
			1・2	前・後										
		フィジカルアセスメント特論-1 *	1	前	1	○						◎		山内豊明
			1・2	前・後										
		フィジカルアセスメント特論-2	1	後	1			○			◎			川野道宏
		臨床薬理学特論-1 *	1	前	1	○						◎		柳田俊彦
1・2			前・後											
臨床薬理学特論-2	1	後	1	○					○		◎		三浦篤史	
医療安全・特定行為実践特論 *	1	前	1	○						◎		石井邦子		
	1・2	前・後												
特定行為共通科目統合演習 *	1	前	1	○						◎		山内豊明		
	1・2	前・後												

科目 区分		授業科目名	配当 年次	開講 時期	単位数	授業形態			履修方法及び修了要件				科目 履修	科目責任教員 （主任講師）	
						講 義	演 習	実 習	修論コース		NPコース				
									必修	選択	必修	選択			
専 門 分 野	高度実践看護学（NP）	高度実践看護学(NP)特論Ⅰ （NPの役割と機能）	1	通	2	○							◎		松下由美子
		高度実践看護学(NP)特論Ⅱ （生涯発達とNPの役割）	1	前	2	○					○		◎	◇	松下由美子
		高度実践看護学(NP)演習Ⅰ	1	後	1		○						◎		田村正徳
		高度実践看護学(NP)演習Ⅱ	1	後	1		○						◎		田村正徳
		高度実践看護学(NP)演習Ⅲ	1	後	2		○						◎		大谷津恭之
		高度実践看護学(NP)演習Ⅳ	1後～2前		2		○						◎		田村正徳
		高度実践看護学(NP)演習Ⅴ	1後～2前		3		○						◎		田村正徳
		高度実践看護学(NP)実習Ⅰ （総合診療）	2	前	4			○					◎		川野道宏
		高度実践看護学(NP)実習Ⅱ （急性期系）	2	通	5			○					◎		川野道宏
		高度実践看護学(NP)実習Ⅲ （慢性期）	2	通	6			○					◎		齋藤順子
		計（18科目）	—	—	37	—			—	—	—	—	—	—	
	看護学 研究	看護学特別研究	1～2	通	8		○				◎				各指導教員
		看護学特定課題研究	1～2	通	4		○						◎		各指導教員
		計（2科目）	—	—	12	—			—	—	—	—	—	—	
合計（47科目）			—	—	103	—			30以上		55以上		15以下		

*印 放送大学大学院単位互換科目（6科目7単位）

履修方法及び修了要件

〔修士論文コース〕

- ＝必修科目（**6単位**）
- ◎＝選択必修科目（**14単位**）
- ＝選択科目（共通科目から2単位以上＋専門分野から8単位以上、放送大学大学院単位互換科目は4単位を上限）
- ※専門分野科目の開講については要相談

〔診療看護師（NP）コース〕55単位以上

- ＝必修科目（**6単位**）
- ◎＝選択必修科目（**47単位**）
- ＝選択科目（**2単位以上**）
- ※専門分野科目の開講については要相談

〔科目等履修生〕

- ◇＝履修可能科目（履修できる単位は、15単位を上限とする）
- ※専門分野科目については、正規学生の履修者がいる場合のみ開講

入学前に履修した大学院科目は、入学後に手続きをすることで本学で修得したと認定できます。事前の対応で、入学後の学びにゆとりが生まれます。

診療看護師（NP）コース受験者は、放送大学大学院科目の診療看護師（NP）コース関連科目の中で、特に、以下の科目を履修しておいてください。

○臨床病態生理学・疾病概論 ○フィジカルアセスメント特論-1 ○臨床薬理学特論-1

また、修士論文コース受験者は、科目等履修生として単位取得しておくことをお勧めします。

9. 本研究科が実施する特定行為研修

(2026 年度より変更予定)

特定行為区分	特定行為
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更
	非侵襲的陽圧換気の設定の変更
	人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整
	人工呼吸器からの離脱
呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	気管カニューレの交換
呼吸器（気道確保に係るもの）関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整
ろう孔管理関連	胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換
創傷管理関連	褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去
動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血
	橈骨動脈ラインの確保
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	脱水症状に対する輸液による補正
感染に係る薬剤投与関連	感染徴候がある者に対する薬剤の臨時の投与
血糖コントロールに係る薬剤投与関連	インスリンの投与量の調整
循環動態に係る薬剤投与関連	持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整
精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	抗けいれん剤の臨時の投与
術後疼痛管理関連	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整

※上記の特定行為研修に係る特定行為区分を1行為以上すでに修了している場合、入学後に申請手続きをし、演習科目の成績評価が一定の条件を満たした場合、特定行為に関する実習内容の一部が免除になります。詳しくはお問い合わせください。

10. 実習協力施設

(2025 年 4 月 1 日現在)

JA 長野厚生連鹿教湯三才山リハビリテーションセンター鹿教湯病院、同佐久総合病院、同小海分院、同佐久医療センター、同長野松代総合病院、同富士見高原病院、佐久市立国保浅間総合病院、小諸高原病院、社会医療法人財団慈泉会相澤病院、諏訪赤十字病院、市立大町総合病院、国立病院機構まつもと医療センター、医療法人友愛会千曲荘病院、独立行政法人国立病院機構信州上田医療センター、医療法人日高会日高病院、木ノ内在宅クリニック

Ⅱ．入試概要

1．募集人員

研究科・専攻名	修業年限	学位	募集人員
看護学研究科看護学専攻	2年 *1	修士（看護学）	10名 *2

*1 長期履修制度：本研究科では、就業しているなどの理由から、2年間の修業年限では修了できない人のために3年あるいは4年間の修業年限を設定し、計画的に履修する長期履修制度を設けています（その場合でも、授業料は2年間分です）。

*2 診療看護師（NP）コースの定員は、入学定員10名中5名とする。

2．出願資格

【コース共通】

次の1)～7)のいずれかの条件を満たす者

- 1) 大学（学校教育法第83条に定める大学をいう）を卒業した者及び2026年3月卒業見込みの者
- 2) 学校教育法第104条第7項の規定により、学位授与機構から学士の学位を授与された者及び2026年3月までに授与見込みの者
- 3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び2026年3月までに修了見込みの者
- 4) 昭和28年2月7日文部科学省告示第5号により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者
- 5) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
- 6) 短期大学、専修学校、各種学校の卒業者で看護師の免許証を有し、入学時に3年以上（診療看護師（NP）コースは5年以上）の実務経験を有する者で、出願資格審査（P.9「6.出願資格審査申請手続」参照）により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本研究科において認めた者
- 7) その他の者で出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本研究科において認めた者

上記に加え、診療看護師（NP）コースは2026年3月末現在で医療機関等において、常勤の看護職（准看護師は除く）として実務経験が5年以上ある者とする。

また、推薦選抜（および診療看護師（NP）コースで推薦書を提出する方）は医療機関等の所属長、または在学する大学等の学長または学部長、学校長等からの推薦を受け出願する者。

3．試験等の日程

	I 期	II 期*	III 期*
出 願 期 間 ※必着／持ち込み可	2025年9月9日(火) ～9月19日(金)	2025年12月2日(火) ～12月15日(月)	2026年1月26日(月) ～2月4日(水)
試 験 日	2025年9月27日(土)	2025年12月20日(土)	2026年2月10日(火)
合 格 発 表	2025年10月23日(木)	2026年1月5日(月)	2026年2月19日(木)
入学手続締切日 ※必着／持ち込み可	2025年11月6日(木)	2026年1月19日(月)	2026年3月6日(金)

*II・III期は定員を満たした場合には実施しません。実施については本学ホームページ上でお知らせします。

4．試験当日の時間割

<会 場> 佐久大学

受付	受験上の注意	小論文	専門科目	面接
8:30～9:00	9:00～9:10	9:10～10:10	10:25～11:25	11:35～

5. 入試区分と選抜方法

【修士論文コース】

一般選抜あるいは推薦選抜のどちらかで受験します。

提出された出願書類及び本学が実施する試験等により、総合的に判定します。なお、留学生は英語での試験を受けられます。

1) 一般選抜

- (1) 小論文・・・800字程度、英語短文の講読を含む ※英語辞書（電子辞書を含む）持込み可
- (2) 専門科目・・・800字程度、選択した専門分野の知識を問うもの
- (3) 書類審査・・・志願理由書、成績証明書
- (4) 面接

2) 推薦選抜

- (1) 小論文・・・800字程度、保健医療全般に関するもの
- (2) 専門科目・・・800字程度、選択した専門分野の知識を問うもの
- (3) 書類審査・・・志願理由書、成績証明書、推薦書
- (4) 面接

入試の過去問題については本学ホームページの以下のページに掲載予定です。

https://www.saku.ac.jp/graduate_school/gschool_examination/

【診療看護師（NP）コース】

提出された出願書類及び本学が実施する試験等により、総合的に判定します。

- (1) 小論文・・・800字程度、保健医療全般に関するもの
- (2) 専門科目・・・薬理学、病態生理学、健康障害と治療など
(看護師国家試験問題に準じた内容および出題形式)
- (3) 書類審査・・・志願理由書、成績証明書、推薦書（推薦がある場合）
- (4) 面接

入試の過去問題については本学ホームページの以下のページに掲載予定です。

https://www.saku.ac.jp/graduate_school/gschool_examination/

6. 出願資格審査申請手続（該当者のみ）

「2.出願資格」6）、7）により出願を希望する者は、出願資格審査が必要です。受付期間内に必要書類を提出し、出願資格審査を受けてください。

ただし、下記のいずれかの条件を満たした者は、大学を卒業した者と同等の資格があると見なし、出願資格審査を免除します。該当する者は、下記のいずれかを証明する書類の写しを出願時に提出してください。

[免除事項]

- ①保健師もしくは助産師の資格を有する者
- ②看護教員養成課程（厚生労働省、財団法人日本看護協会、都道府県など公共またはそれと同等となる機関の6ヶ月以上の卒後研修コース）を修了した者
- ③認定看護師もしくは認定看護管理者の資格を取得した者
- ④本学研究科の科目等履修生（修士論文コースのみ）

1) 受付期間及び結果通知日

	I 期	II 期	III 期
受付期間 ※必着／持ち込み可	2025年7月28日(月) ～8月8日(金)	2025年10月27日(月) ～11月6日(木)	2026年1月7日(水) ～1月13日(火)
結果通知日	2025年9月4日(木)	2025年11月27日(木)	2026年1月22日(木)

2) 提出書類

- (1) 出願資格審査申請書 (所定の用紙を使用)
https://www.saku.ac.jp/graduate_school/gschool_examination/
- (2) 履歴書 (所定の用紙を使用)
https://www.saku.ac.jp/graduate_school/gschool_examination/
- (3) 卒業証明書 (出身学校所定の用紙にて作成したもの)
- (4) 成績証明書 (出身学校所定の用紙にて作成したもの)
- (5) 研究業績書 (院内研究・学会発表、雑誌・書籍に掲載したもの等がある場合)
- (6) 看護師などの免許証の写し (「2. 出願資格」 6) に該当する者のみ)
- (7) 返信用封筒 (速達代+定型郵便物代の切手を貼り、出願資格審査申請結果送付先を記入したもの)

3) 出願資格審査申請の提出先・連絡先

〒385-0022 長野県佐久市岩村田2384

佐久大学事務局 入試広報課

電話：0267-68-6680 E-mail：admission@saku.ac.jp

4) 審査結果

審査結果は、郵送により本人宛に通知します。

7. 出願前面談

入学後は「研究指導教員」のもとで、履修指導・研究指導を受けることになりますので、予め出願前に教員との面談を受けてください。

希望するコース・分野及び教員(下記参照)がいる場合は当該教員と面談をします。希望するコース・分野及び教員の判断がつかない場合は、看護学研究科長が面談する教員を調整します。なお、出願資格審査が必要な方は、出願資格審査申請前に面談してください。日程に余裕をもって佐久大学入試広報課(admission@saku.ac.jp)まで連絡してください。その際、希望する分野及び教員があれば申し出てください。

【修士論文コース】

(分野内50音順) 2025.4.1現在

分野	研究指導教員名	key words
総合看護学分野	八尋 道子	看護倫理 よい看護、よい看護師 倫理教育
	吉田 文子	看護学教育 実践的指導力 教育評価
臨床看護学分野	柿澤 美奈子	精神看護 看護学実習
	川野 道宏	意欲 自己主体感 リハビリテーション看護 看護技術
	小林 睦	小児看護
	鈴木 千衣	長期療養児のケア 外来看護 プレパレーション
	武田 貴美子	慢性期看護 療養支援 慢性腎臓病
	水野 照美	成人看護 がん看護 外来看護
	湯本 敦子	ウイメンズヘルス リプロダクティブヘルス 周産期看護・助産ケア
地域看護学分野	小林 恵子	地域保健活動 公衆衛生看護 母子保健
	朴 相俊	ソーシャル・キャピタル 自殺予防 介護予防

【診療看護師(NP)コース】

診療看護師(NP)コースをご希望の方は、まず川野道宏教授と面談してください。

8. 出願書類

【修士論文コース】

次の書類を準備し、出願期間内に郵送もしくは持参してください。

なお、出願手続はWeb出願となります。詳細は「10. 出願時の注意事項について（14ページ）」
「11. Web出願の流れ（15ページ）」を参照してください。

1)～4)の書類はWeb出願サイトによる願書入力、入学検定料の支払い（Web決済）完了後、出力可能となります。

「出願申込履歴」の画面の右端の「受験票」欄に表示される【印刷へ】をクリックすると、印刷することができます。必ずA4用紙にカラーで印刷してください。

1) 志願書

志願書は受験番号が表示されていることを確認の上、印刷してください。

2) 受験票／写真票

受験票と写真票はセットで印刷されますので、切り取り線に沿って切り離してください。

3) 出願用封筒の宛名シート

各自用意した封筒に貼り付けてください。

出願用封筒は角2封筒（240 mm×332 mm）としてください。

4) 受験票返信用封筒の宛名シート

切り取り線に沿って切り離して、各自用意した封筒に貼付してください。

また、速達代＋定型郵便物代の切手を忘れずに貼付してください。

受験票返信用封筒は長3封筒（120 mm×235 mm）としてください。

5) 志願理由書

① 本学所定の「志願理由書」をホームページからダウンロードしてA4用紙に印刷して使用してください。

https://www.saku.ac.jp/graduate_school/gschool_examination/

② 受験者本人が記入してください。

③ 横書きに800字以内で書いてください（黒の筆記具を使用してください。※ボールペンを推奨、消せるボールペンは不可）。

6) 履歴書

① 本学所定の「履歴書」をホームページからダウンロードしてA4用紙に印刷して使用してください。

https://www.saku.ac.jp/graduate_school/gschool_examination/

② 受験者本人が記入してください。

③ 横書きに800字以内で書いてください（黒の筆記具を使用してください。※ボールペンを推奨、消せるボールペンは不可）。

7) 就学承諾書（在職したまま就学しようとする者）

本学所定の「就学承諾書」をホームページからダウンロードしてA4用紙に印刷して使用してください。

https://www.saku.ac.jp/graduate_school/gschool_examination/

8) 推薦書（推薦選抜受験者のみ必要）

① 本学所定の「推薦書」をホームページからダウンロードしてA4用紙に印刷して使用してください。

https://www.saku.ac.jp/graduate_school/gschool_examination/

② 医療機関等の所属長、または在学する大学等の学長または学部長、学校長等からの推薦書に押印を受け、厳封したものを提出してください。

9) 免許証の写し ※出願資格審査申請の際に提出した方は再提出する必要はありません。

保健師・助産師・看護師免許証があればその写し（A4判に縮小したもの）

10) 卒業（見込）証明書 ※出願資格審査申請の際に提出した方は再提出する必要はありません。

① 出身学校の所定の用紙により発行者が作成したもの

② 学位授与機構から学士を授与された場合は、学士の学位証明書を提出してください。外国の大学卒業の場合は、卒業（見込）証明書の写しでも可

③ 入学願書等の氏名が証明書と不一致の場合は、改氏名を証明するもの（戸籍抄本）を添付してください。

11) 成績証明書 ※出願資格審査申請の際に提出した方は再提出する必要はありません。

- ①出身学校の所定の用紙により発行者が作成したもの
- ②外国の大学卒業（見込）の場合は、成績証明書の写しでも可
- ③入学願書等の氏名が証明書と不一致の場合は、改氏名を証明するもの（戸籍抄本）を添付してください。

12) 外国人登録証明書

日本に在留している外国人出願者は、市区町村長の発行する外国人登録原票記載事項証明書を添付してください。

【診療看護師（NP）コース】

次の書類を準備し、出願期間内に郵送もしくは持参してください。

なお、出願手続はWeb出願となります。詳細は「10. 出願時の注意事項について（14ページ）」
「11. Web出願の流れ（15ページ）」を参照してください。

1)～4)の出願はWeb出願サイトによる願書入力、入学検定料の支払い（Web決済）完了後、出力可能となります。

「出願申込履歴」の画面の右端の「受験票」欄に表示される【印刷へ】をクリックすると、印刷することができます。必ずA4用紙にカラーで印刷してください。

1) 志願書

志願書は受験番号が表示されていることを確認の上、印刷してください。

2) 受験票／写真票

受験票と写真票はセットで印刷されますので、切り取り線に沿って切り離してください。

3) 出願用封筒の宛名シート

各自用意した封筒に貼り付けてください。

出願用封筒は角2封筒（240 mm×332 mm）としてください。

4) 受験票返信用封筒の宛名シート

切り取り線に沿って切り離して、各自用意した封筒に貼付してください。

また、速達代＋定型郵便物代の切手を忘れずに貼付してください。

受験票返信用封筒は長3封筒（120 mm×235 mm）としてください。

5) 志願理由書

- ①本学所定の「志願理由書」をホームページからダウンロードしてA4用紙に印刷して使用してください。

https://www.saku.ac.jp/graduate_school/gschool_examination/

- ②受験者本人が記入してください。
- ③横書きに800字以内で書いてください（黒の筆記具を使用してください。※ボールペンを推奨、消せるボールペンは不可）。

6) 履歴書

- ①本学所定の「履歴書」をホームページからダウンロードしてA4用紙に印刷して使用してください。

https://www.saku.ac.jp/graduate_school/gschool_examination/

- ②受験者本人が記入してください。
- ③横書きに800字以内で書いてください（黒の筆記具を使用してください。※ボールペンを推奨、消せるボールペンは不可）。

7) 就学承諾書（在職したまま就学しようとする者）

本学所定の「就学承諾書」をホームページからダウンロードしてA4用紙に印刷して使用してください。

https://www.saku.ac.jp/graduate_school/gschool_examination/

8) 推薦書（推薦がある場合）

- ①本学所定の「推薦書」をホームページからダウンロードしてA4用紙に印刷して使用してください。

https://www.saku.ac.jp/graduate_school/gschool_examination/

- ②医療機関等の所属長、または在学する大学等の学長または学部長、学校長等からの推薦書に押印を受け、厳封したものを提出してください。

9) 免許証の写し ※出願資格審査申請の際に提出した方は再提出する必要はありません。

保健師・助産師・看護師免許証があればその写し（A4判に縮小したもの）

10) 卒業（見込）証明書 ※出願資格審査申請の際に提出した方は再提出する必要はありません。

- ①出身学校の所定の用紙により発行者が作成したもの
- ②学位授与機構から学士を授与された場合は、学士の学位証明書を提出してください。外国の大学卒業の場合は、卒業（見込）証明書の写しでも可
- ③入学願書等の氏名が証明書と不一致の場合は、改氏名を証明するもの（戸籍抄本）を添付してください。

11) 成績証明書 ※出願資格審査申請の際に提出した方は再提出する必要はありません。

- ①出身学校の所定の用紙により発行者が作成したもの
- ②外国の大学卒業（見込）の場合は、成績証明書の写しでも可
- ③入学願書等の氏名が証明書と不一致の場合は、改氏名を証明するもの（戸籍抄本）を添付してください。

12) 外国人登録証明書

日本に在留している外国人出願者は、市区町村長の発行する外国人登録原票記載事項証明書を添付してください。

9. 入学検定料

30,000円

※入学検定料の支払いは、出願期間内に完了してください。

※別途、事務手数料が必要となります。

10. 出願時の注意事項について

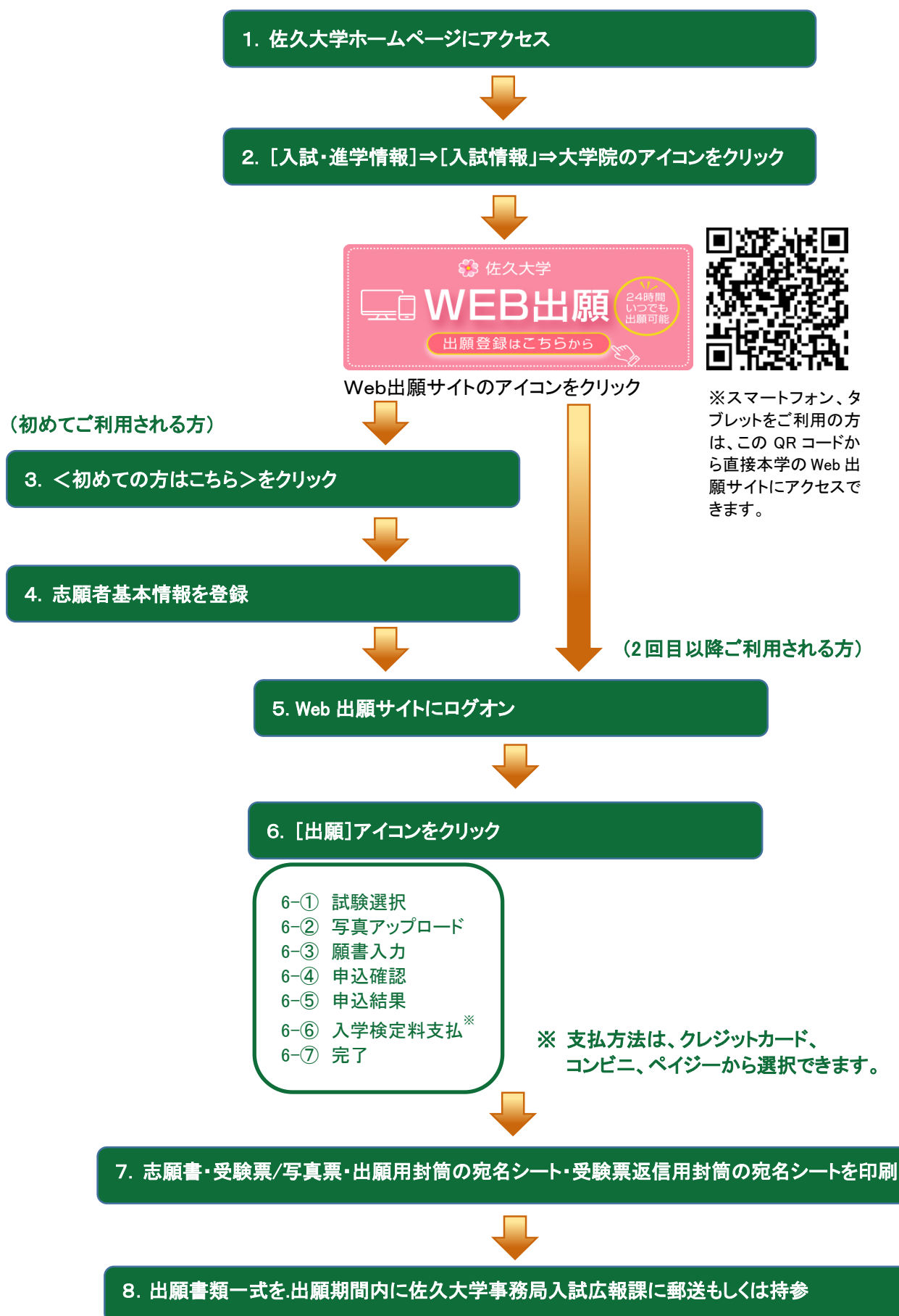
すべての入試がWeb出願となります。詳しくは「11. Web出願の流れ（15ページ）」を参照してください。

- 1) 出願書類は入試区分ごとに定められた受付期間内に提出してください。
郵送の場合は、締切日まで必着のものを有効とします。また、持ち込みの場合の受付時間は、平日9時から17時までとします。
- 2) 出願書類に不備のあるもの、受付期間を過ぎたものは受理しません。
- 3) 出願書類の受付後は、返却および記載事項の変更は認めません。
- 4) 出願書類の記載と相違する事実が発見された場合は、入学後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- 5) 一旦受理した出願書類の返却および入学検定料の返還はできません。ただし、以下の事由のいずれかに該当する場合は、請求により入学検定料の返還を受けることができます。返還を希望する方は本学入試広報課までご連絡ください。
 - (1) 入学検定料を納入したが、出願書類を提出しなかった。
 - (2) 入学検定料を誤って納入した（二重払い等）。
 - (3) 出願が受理されなかった（出願資格なし・出願書類不備等）。
- 6) 受験票が試験日2日前になっても届かない場合は本学入試広報課までお問い合わせください。
- 7) 病気・負傷や障害等のために、入試の受験に際して何らかの配慮を希望する場合（日常的に使用している補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験などを含む）は、試験会場設定や他の配慮内容との関係から、必ず出願手続前に、本学入試広報課までご相談ください。事前の相談がない場合や出願書類の受付後は配慮できないことがありますので予めご了承ください。

11. Web 出願の流れ

すべての入試がWeb出願となります。

※Web出願システムのご利用方法のマニュアルは、[こちら](#)からダウンロードできます。



12. 受験上の注意事項について

- 1) 試験会場までの交通機関、順路、所要時間などは、事前に確認してください。
会場の下見は、平日、土日祝日を問わず可能ですが、いずれの日も施設内には入れません。
また、講内（敷地内）に入ることができない場合がありますので、ご了承ください。
- 2) 試験当日は受験番号と同じ座席に着席してください。入試区分によって、試験会場が異なりますので、間違いのないようご注意ください。
- 3) 受験票は必ず携行してください。入退室時には提示するとともに、机上の受験番号シールの下に置いてください。
- 4) 受験票を紛失または忘れた方は、仮受験票を発行いたしますので、試験会場の受付で申し出てください。
- 5) 交通機関の遅延を含め遅刻した方は、到着後直ちに係員に申し出てください。
- 6) 試験室内ではすべて試験監督者の指示に従ってください。
- 7) 試験室内での携帯電話・スマートフォン等の使用は禁止します。所持している場合は電源を切ってカバンにしまってください。試験時間中に呼び出し音が鳴った場合には、本人の許可なくカバンを試験室外に持ち出す場合があります。また、携帯電話・スマートフォン等を使用した場合は不正行為と見なしますので、ご注意ください。
- 8) 試験時間中の途中退出は原則として認めません。体調不良等やむを得ない事情がある場合は試験監督者に申し出てください。
- 9) 不正行為があったときは、直ちに退室を命じ、受験を無効とします。
- 10) 試験中に使用できる筆記用具は、黒鉛筆（HB または B）、シャープペンシル（HB または B、0.5 mm以上の黒芯）、消しゴム、鉛筆削りです。
- 11) 試験当日、受験者以外は試験会場に入ることはできません。
- 12) 試験室には時計がない場合があります。試験開始・終了については試験監督者から合図がありますが、時計が必要な場合は各自で準備してください。ただし、計算・辞書機能を備えた時計の使用や携帯電話等を時計代わりに使用することは認めません。
- 13) 病気等により医師の診断書があり別室での受験を希望される方は、試験前日までに申し出てください。

13. 合格発表および入学手続について

●合格発表

- 1) 合否の結果は、発表日の午前10時からWeb出願サイトで確認することができます。Web出願サイトにログインし、【合否照会】アイコンをクリックすると、合否照会画面に移りますので、【結果を確認】ボタンをクリックして確認してください。
- 2) 電話・メール等による合否についての問い合わせには応じることはできません。

●入学手続

- 1) 入学手続に必要な書類および手続方法については、合格発表日にWeb出願サイトに登録したメールアドレス宛てにメールでお知らせいたします。入学手続は、学生納付金を納入し、入学手続書類を本学が受領して完了となります。
- 2) 期日までに入学手続を行わなかった場合は、入学の意思がないものと判断いたします。その後の入学手続は一切認めません。

●入学辞退について

- 1) 合格発表後、入学を辞退される方は直ちに本学へ申し出てください。
- 2) 入学手続後、辞退される方は本学へ連絡するとともに本学所定の入学辞退届を速達書留で郵送してください。なお、すでに提出された書類等は返却できません。
- 3) 入学辞退届受理後、所定の手続が完了しましたら、入学金以外の納付金を返還いたします。但し、入学辞退申出締切以降は、理由を問わず返還できませんのでご了承ください。

入学辞退申出締切：2026年3月31日（火）正午

14. 学生納付金について

【修士論文コース】

項目	初年度		2 年目	
	前期	後期	前期	後期
入 学 金	230,000 円	—	—	—
授 業 料	450,000 円	450,000 円	450,000 円	450,000 円
合 計	680,000 円	450,000 円	450,000 円	450,000 円
年間合計	1,130,000 円		900,000 円	

【診療看護師（NP）コース】

項目	初年度		2 年目	
	前期	後期	前期	後期
入 学 金	230,000 円	—	—	—
授 業 料	450,000 円	450,000 円	450,000 円	450,000 円
実 習 費	—	—	200,000 円	—
合 計	680,000 円	450,000 円	650,000 円	450,000 円
年間合計	1,130,000 円		1,100,000 円	

※入学手続き時に納付いただく学費は太枠内に表示した金額です。

後期分学費は 2026 年 9 月 1 日付で納付案内を郵送し、10 月 31 日までに納付していただくこととなりますが、入学手続き時に一括納入されても差し支えありません。2 年次以降は入学金を除いた額をお支払いください。

* 2 年次以降の納付金に変更される場合があります。

* 佐久大学および佐久大学信州短期大学部の卒業生は、入学金のうち 100,000 円が減免されます。

【奨学金・教育訓練給付金・修学資金】

本学独自の奨学金制度のほか、厚生労働省が実施する教育訓練給付制度、自治体等の修学資金制度を利用することができます。詳細は、本学ホームページをご確認ください。

https://www.saku.ac.jp/graduate_school/gschool_scholarship/#scholarship

15. 個人情報の保護について

個人情報の保護に関して、本学では次のとおり取り扱います。

出願時にご提出いただいた書類に記載の個人情報は、次に掲げる目的のみに利用し、それ以外には利用いたしません。

- (1) 入学者選抜、合格発表、入学手続等、入学までの一連の業務を行うため。
- (2) 入学後の学籍、入学試験に関する各種統計資料の作成等、本学の業務を行うため。
- (3) 入学後の各種奨学金の申請および推薦手続き時の資料として使用するため。

Ⅲ .本学へのアクセス



- ☐ 公共交通機関：北陸新幹線「佐久平駅」、JR 小海線「佐久平駅」から徒歩約 15 分。
スクールバスで 5 分。
- ☐ 自動車の場合：上信越自動車道「佐久インター」から車で 10 分。
中部横断自動車道「佐久中佐都インター」から車で 3 分。
- ☐ Google map URL：<https://goo.gl/maps/jFi7G42LJALwaHDS6>

入試に関するお問い合わせは下記にお寄せください



佐久大学 事務局入試広報課

〒385-0022 長野県佐久市岩村田 2384
TEL 0267-68-6680 FAX 0267-68-6687
E-mail admission@saku.ac.jp
<https://www.saku.ac.jp/>